

令和3年度 道徳授業地区公開講座 2年1組 参観・協議資料

12月3日(金)5校時	会場：2年1組教室
【主題名・教材名】 やさしい気持ち 「ぐみの木と小鳥」	【内容の項目】 B 主として人との関わりに関すること 「親切・思いやり」
【授業のねらいと概要、授業者の願い】 この時期の児童は、気の合う仲間どうしでは、親切な行為を自然に実践できるが、自分と関わりが少ない人々に対しては、自分の楽しさが優先したり、友達の意見に左右されたりして、相手の気持ちを思いやって親切にすることがあまり見られません。また、親切にされても、感謝する気持ちが十分に育っておらず、親切にすることの大切さに気付くことも少なく思います。そこで、集団生活にも慣れ、自分自身のことばかりではなく、他へも目を向けられつつあるこの時期の児童には、困っている人や弱い立場の人を思いやる親切の大切さやよさについて指導していきたいと思います。また、親切にした方もされた方も、互いに温かい気持ちになり、人間関係を和やかなものにしていけることの大切さにも気付かせていきたいと考えます。	

令和3年度 道徳授業地区公開講座 2年2組 参観・協議資料

12月3日(金)5校時	会場：2年2組教室
【主題名・教材名】 わけへだてをしない 「はるばる園の新しい友だち」	【内容の項目】 C 主として集団や社会との関わりに関すること 「公正、公平、社会主義」
【授業のねらいと概要、授業者の願い】 今日の授業のねらいは、知らないうちに人を傷付けてしまっていたみんなの行動について考えることを通して、偏ったものの見方をしないで、誰に対しても公平に接しようとする心情を育てることです。様々な人と共生していくために、自分自身の偏見に気付き、偏ったものの見方をしないで公平に接する在り方について考えを広げさせたいです。 カバの子たちが通う園に、転入生がやってきます。みんな楽しみにしていたが転入生のイメージと違ったことから、否定的な目で見てしまい転入生を傷付けてしまいます。 これは偏見に他ならないということに気付かせたいです。 誰にでもあることですが、そういう時、どういう考えが大切なのか、今日考えたことを生かしてほしいと思います。	

